【資料１】

○北海道における麻しん・風しんの現状及び対策

Ⅰ　現状について

１　全国・北海道の直近発生状況について　　※字体：北海道分は太字

（１）麻しん

2024 年の発生動向（全国 45 件／**うち北海道０件**）

件数内訳	検査診断例 40 件、修飾麻しん５件	
年齢内訳	０歳 ～ ６歳　７件	
	７歳 ～ 12 歳　２件	
	13 歳 ～ 18 歳　６件	
	19 歳以上　30 件	
予防接種歴	接種なし 20 件、１回７件、２回６件、不明 12 件	
推定感染地域	国外 22 件、国内 14 件、国内外不明６件、国内または国外３件	
感染地域	関東地方 19 件	埼玉県８件、千葉県１件、東京都 10 件
	中部地方　３件	岐阜県１件、愛知県２件
	近畿地方 22 件	滋賀県１件、京都府４件、大阪府 11 件、兵庫県４件、奈良県２件
	九州地方　１件	福岡件１件

（出典：感染症サーベイランス（NESID））

2025 年 23 週までの発生動向（全国 135 件／**うち北海道１件**）

件数内訳	検査診断例 109 件（**うち北海道１件**）、修飾麻しん 26 件	
年齢内訳	０歳 ～ ６歳　30 件	
	７歳 ～ 12 歳　３件	
	13 歳 ～ 18 歳　11 件	
	19 歳以上　91 件（**うち北海道１件**）	
予防接種歴	接種なし 42 件、１回 26 件、２回 22 件、不明 45 件	
推定感染地域	国外 65 件、国内 59 件、国内外不明９件、国内または国外２件	
届出地域	北海道･東北地方３件	**北海道１**、宮城県２
	関東地方 64 件	茨城県 21 件、栃木県１件、群馬県４件、埼玉県５件、千葉県８件、東京都 15 件、神奈川県 10 件
	中部地方 16 件	福井県１件、長野県１件、岐阜県３件 静岡県１件、愛知県 10 件
	近畿地方 37 件	三重県２件、滋賀県２件、京都府４件 大阪府 14 件、兵庫県 13、奈良県２
	中国地方件７件	鳥取県１件、岡山県３件、山口県３件
	四国地方件３件	徳島県１件、香川県２件
	九州地方５件	福岡県３件、大分県２件

（出典：感染症サーベイランス（NESID））

（２）風しん

2024 年の発生動向（全国７件／**うち北海道１件**）

件 数 内 訳	検査診断例７件（**うち北海道１件**）
年 齢 内 訳	０歳 ～ ６歳 ０件
	７歳 ～ 12 歳 １件
	13 歳 ～ 18 歳 ０件
	19 歳以上 ６件（**うち北海道１件**）
予 防 接 種 歴	接種なし０件、**１回１件**、２回１件、不明５件
推定感染地域	国外０件、国内３件、国内外不明４件、国内または国外０件
届 出 地 域	**北海道１件**、栃木県１件、埼玉県１件、東京都１件、 岐阜県１件、愛知県１件、大阪府１件

（出典：感染症サーベイランス（NESID））

2025 年 23 週までの発生動向（全国６件／**うち北海道０件**）

件 数 内 訳	検査診断例５件、臨床診断例１件
年 齢 内 訳	０歳 ～ ６歳 １件
	７歳 ～ 12 歳 １件
	13 歳 ～ 18 歳 １件
	19 歳以上 ３件
予 防 接 種 歴	接種なし２件、１回１件、２回２件、不明１件
推定感染地域	国外１件、国内３件、国内外不明２件、国内または国外０件
届 出 地 域	秋田県１件、栃木県１件、東京都１件、富山県１件、 静岡県１件、京都府１件

（出典：感染症サーベイランス（NESID））

（３）先天性風しん症候群（CRS）

2024 年の発生動向（全国０件／**うち北海道０件**）
2025 年 23 週までの発生動向（全国０件／**うち北海道０件**）

（出典：感染症サーベイランス（NESID））

２ MR ワクチンの定期接種状況等について《参考資料１》参照

令和６年度の**道内の定期接種率**は、**第１期**定期接種率は **93.0%**、**第２期**定期接種率は **89.4%**であった。

麻しんに関する特定感染症予防指針と風しんに関する特定感染症予防指針では、感染力の強さなどの観点から、第１期と第２期の定期接種率が 95%以上となるよう求められており、道の感染症予防計画でも記載しているところ。各市町村は、複数回の接種勧奨や広報誌等のツールを使用した接種の呼びかけなどの取組を行っているが、接種率が 95%を超えるには至っていない。

3　予防接種法に基づかない予防接種について

（1）麻しん

医療機関及び児童福祉施設等の職員など抗体を保有しない０歳児や妊婦等に接する機会が多い者に対して予防接種を受けるよう推奨するほか、妊娠中に麻しんに感染すると一定のリスクがあるため、ワクチン未接種・未罹患の場合に、妊娠前にワクチン接種を受けることを推奨する必要がある。

（出典：資料３北海道感染症予防計画）

（2）風しん

医療機関及び児童福祉施設等の職員、学校等の職員のほか、風しんに関する国の追加的政策の対象者を含む定期予防接種を受ける機会がなかった者や妊娠を希望する女性等に対し、市町村等と連携しながら風しんの抗体検査や予防接種の推奨を行う必要がある。

（出典：資料３北海道感染症予防計画）

4　国の動向について《参考資料２》

令和７年(2025 年)４月 24 日付け健生発 0424 第１号感発 0424 第１号「特定感染症検査等事業について」の一部改正についてにより、特定感染症検査等事業実施要綱が改正され、事業内容に麻しん抗体検査事業とエムポックス抗体検査事業が追加された。

5　昨年度の専門会議後の道の対応状況について

①　ホームページの更新《参考資料３》

・　麻しん・風しんについて、道内で発生した直近の患者概要や感染が疑われる場合の行動方法等を追加した。

②　道内市町村の取組状況調査《参考資料４》

・　MR ワクチンの定期接種率向上に向けて、全市町村あてにアンケート調査を行い、接種率向上の好事例について、フィードバックを行った。

③　北海道風しん抗体検査事業の継続《参考資料５》

・　令和６年度の補助金交付件数は 260 件であった。

なお、詳細な道の対応状況について整理したものが、【資料２】「北海道感染症予防計画の推進状況及び評価等」。

【参考】麻しん・風しん・先天性風しん症候群（CRS）の概要について

（1）麻しん（五類感染症／全数報告）

Ⅰ感染経路：	空気感染・飛沫感染・接触感染
	→病原体は気道分泌物の中に含まれ、これを介して感染する。
	極めて感染力が強くヒト－ヒト感染する。
Ⅱ症　　状：	⓪潜伏期(10～12 日／最大 21 日)
	①カタル期(２～４日)
	発熱・咳・鼻水・眼脂・結膜充血・コプリック斑
	②発疹期(３～４日)
	顔面頚部から体駆四肢へ広がる。癒合傾向あり。
	③回復期
	色素沈着が暫く残る。僅かの糠状の落屑がある。
Ⅲ治　　療：	対症療法

※修飾麻しん：麻しんへの免疫を持っているが不十分で、典型的な症状を伴わない軽症の麻しん。感染力は麻しんと比較すると低く、空気感染対策は不要。

（2）風しん（五類感染症／全数報告）

１感染経路：	飛沫感染・接触感染
	→病原体は鼻咽頭分泌物中に含まれ、直接・飛沫により感染する。
	感染力が強くヒト－ヒト感染する。
Ⅱ症　　状：	⓪潜伏期(14 日～21 日／通常 16 日～18 日)
	①具体的な症状
	・皮疹(紅斑)：顔面→体幹→全身に広がる。
	・リンパ節腫脹：耳後部に多い。全身にも見られる。
	・発熱(微熱)
Ⅲ治　　療：	対症療法

（3）先天性風しん症候群（CRS）（五類感染症／全数報告）

１感染経路：	経胎盤感染
	→妊婦がウイルス血症を起こし、胎盤を通じて胎児に感染する。
Ⅱ症　　状：	白内障／先天性心疾患／難聴
Ⅲ治　　療：	対症療法

【参照文献】

・H31.4.19 一部改正　麻しんに関する特定感染症予防指針
・H29.12.21 一部改正　風しんに関する特定感染症予防指針
・H28.6.3　麻疹発生時対応ガイドライン〔第 2 版：暫定改訂版〕
・R7.4.1　麻しんの発生に関するリスクアセスメント(JIHS 2025 年第 1 報)
・R7.4.30　病原微生物検出情報(JIHS No.542)
・東京都感染症マニュアル 2018
・麻しん・風しん　JIHS 感染症情報提供サイト／R7.6.19 閲覧
・2024 年 8 月第 24 版　予防接種に関する Q＆A／一般社団法人日本ワクチン産業協会
・北海道感染症情報センターhttps://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/457/data.html